JGC 日揮グループ



2027年３月期　第２四半期（中間期）
H1 FY2026

決算概要

2026年11月11日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

目次

- 2027年３月期 第２四半期（中間期） 実績
- 2027年３月期 予想
- 参考資料



2027年３月期
第２四半期（中間期）実績



ハイライト

粗利益率	前年同期比
12.0%	+4.1pt

中間純利益	前年同期比
345億円	+228億円

- 国内外プロジェクトの着実な遂行により利益率は上昇
- 収益性向上に加え、円安影響、水ing売却益計上により純利益は前年同期比3倍に増加
- 通期業績予想を上方修正し、純利益は過去最高へ

中東情勢

- 関係者の安全を最優先にサウジアラビア、イラク、UAEで複数のプロジェクトを遂行中
- 一部プロジェクトでは工事計画の変更等によりリスク対応予算を見直し
- 機能材製造事業における原材料調達への影響はこれまでのところ限定的

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

連結損益計算書

【億円】

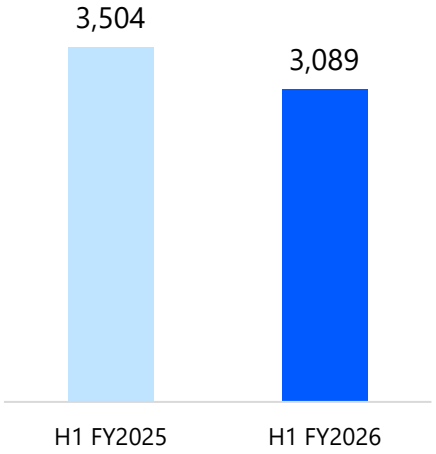
	H1 FY2025	H1 FY2026	前年同期比		FY2026 業績予想（修正後）	進捗率
売上高	3,812	**3,413**	△ 399	△ 10%	**6,700**	51%
売上総利益	302	**410**	+108	+36%	**770**	53%
利益率	7.9%	**12.0%**	+4.1pt		**11.5%**	
営業利益	157	**245**	+88	+56%	**440**	56%
経常利益	211	**357**	+146	+69%	**570**	63%
親会社株主に帰属する中間純利益	116	**345**	+228	+196%	**500**	69%
1株当たり中間純利益	48.24円	**142.77円**				

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

セグメント情報：総合エンジニアリング事業（1）

売上高

【億円】

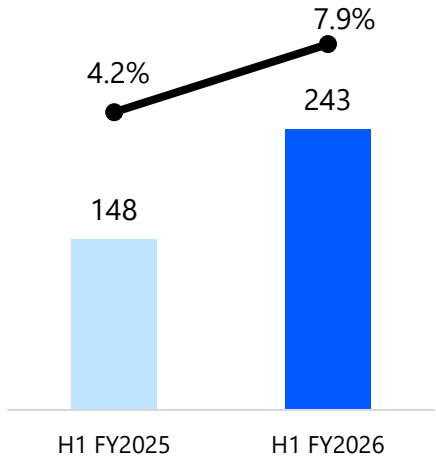


通期予想（修正後）	6,000
進捗率	51%

◆売上高は、複数の海外大型案件が前年度に完工または終盤を迎えたことにより前年同期比減収であるものの、進捗は計画線上で推移

セグメント利益（利益率）

【億円】



通期予想（修正後）	440
進捗率	55%

◆中東情勢の長期化に伴い工事計画の見直しなどリスク対応予算の増額等のマイナス影響がある一方、それらを除く国内外のプロジェクトの着実な遂行に加え円安影響によりセグメント利益は上振れ

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

セグメント情報：総合エンジニアリング事業（2）

受注高 【億円】

	H1 FY2025	H1 FY2026
国内	551	**555**
海外	469	**1,170**
合計	1,020	**1,726**

受注残高 【億円】

	2026年3月末	2026年9月末
国内	1,453	**1,412**
海外	10,102	**8,701**
合計	11,555	**10,113**

主要受注案件	国内	海外
	・製油所改修 ・ガスターミナル復旧工事	・FLNG（モザンビーク）

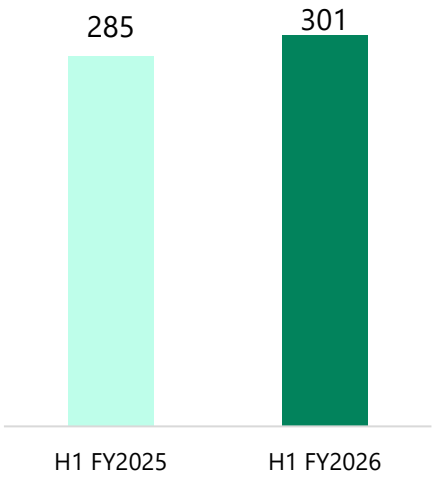
受注残高主要案件	1,000億円以上	500億円以上	300億円以上
	・大型EGR/CCUS陸上設備（インドネシア） ・大型低炭素LNGプラント（UAE）	・原油・ガス分離設備増設工事（サウジアラビア） ・FLNG（モザンビーク）	・製油所近代化（イラク）

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

セグメント情報：機能材製造事業

売上高

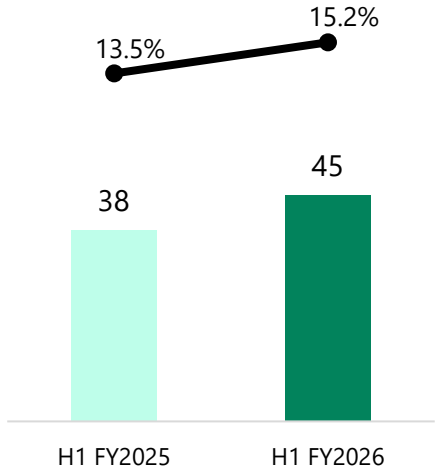
【億円】



通期予想（修正後）	615
進捗率	49%

セグメント利益（利益率）

【億円】



通期予想（修正後）	80
進捗率	57%

◆半導体・ハードディスク研磨用シリカゾルやTV用反射防止剤などのファインケミカル製品の需要が堅調に推移

◆生成AI向け、データセンター関連の半導体需要拡大に伴う電子材料や半導体製造装置関連製品、欧州向けEV用高熱伝導窒化ケイ素基板などのファインセラミックス製品の需要も拡大

◆通期予想は上期実績を反映し、売上高・セグメント利益ともに上方修正

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

連結財政状態及びキャッシュ・フロー

【億円】

	2026年3月末	2026年9月末	増減
総資産	8,387	**8,432**	+44
純資産	4,311	**4,495**	+183
自己資本比率	51.2%	**53.1%**	+1.9pt
JVキャッシュ 当社持分	1,098	**1,029**	△ 68

	H1 FY2025	H1 FY2026	前年同期比
営業 キャッシュ・フロー	△ 75	**162**	+238
投資 キャッシュ・フロー	△ 79	**155**	+235
財務 キャッシュ・フロー	△ 103	**△ 125**	△ 21

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

2027年３月期 予想



2027年３月期の業績見通し

【億円】

	FY2025 実績	FY2026 予想 修正前	FY2026 予想 修正後	FY2026 予想増減	
受注高 (※1)	4,092	**17,400**	**17,400**	-	-
売上高	7,452	**6,700**	**6,700**	-	-
売上総利益	641	**730**	**770**	+40	+5%
利益率	8.6%	**10.9%**	**11.5%**	+0.6pt	
営業利益	353	**400**	**440**	+40	+10%
経常利益	581	**460**	**570**	+110	+24%
親会社株主に帰属する当期純利益	418	**460**	**500**	+40	+9%
1株当たり配当金	52.00円	**52.00円**	**52.00円**	-	
換算レート(米ドル)	159.88円	**150.00円**	**150.00円**	**(※2)** -	

(※1) 総合エンジニアリング事業
(※2) 下期の想定為替レート

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

2027年３月期 セグメント別 業績見通し

【億円】

		FY2025 実績	FY2026 予想 修正前	FY2026 予想 修正後	H1 FY2026 実績	進捗率
総合エンジニアリング	売上高	6,795	6,060	**6,000**	3,089	51%
	セグメント利益	336	414	**440**	243	55%
	利益率	5.0%	6.8%	**7.3%**	7.9%	
機能材製造	売上高	569	555	**615**	301	49%
	セグメント利益	76	66	**80**	45	57%
	利益率	13.5%	11.9%	**13.0%**	15.2%	
その他	売上高	86	85	**85**	22	26%
	セグメント利益	21	20	**20**	4	23%
	利益率	24.3%	23.5%	**23.5%**	20.7%	
調整額	セグメント利益	△ 80	△ 100	**△ 100**	△ 47	-

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

参考資料

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

参考（地域別受注高、売上高、受注残高）

【億円】

	H1 FY2026 受注高		H1 FY2026 売上高		H1 FY2026 受注残高	
日本	**843**	39.6%	**806**	23.6%	**1,581**	15.4%
	(555)	(32.2%)	**(596)**	(19.3%)	**(1,412)**	(13.9%)
アジア	**164**	7.7%	**890**	26.1%	**3,578**	34.7%
	(93)	(5.4%)	**(826)**	(26.8%)	**(3,556)**	(35.2%)
中東	**42**	2.0%	**1,066**	31.3%	**4,081**	39.6%
	(25)	(1.5%)	**(1,049)**	(34.0%)	**(4,081)**	(40.4%)
アフリカ	**768**	36.1%	**247**	7.2%	**898**	8.7%
	(768)	(44.5%)	**(247)**	(8.0%)	**(898)**	(8.9%)
米州ほか	**312**	14.6%	**401**	11.8%	**166**	1.6%
	(283)	(16.4%)	**(369)**	(11.9%)	**(164)**	(1.6%)
合計	**2,131**	100.0%	**3,413**	100.0%	**10,307**	100.0%
	(1,726)	(100.0%)	**(3,089)**	(100.0%)	**(10,113)**	(100.0%)

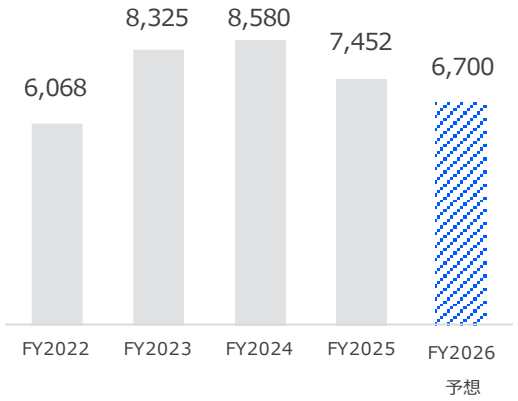
※ 括弧内は総合エンジニアリング事業のみの数字を表しています。

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

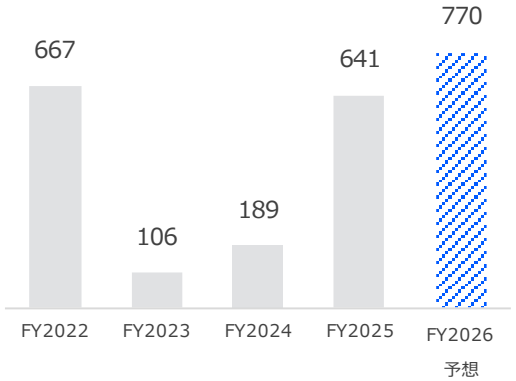
参考（業績推移）

【億円】

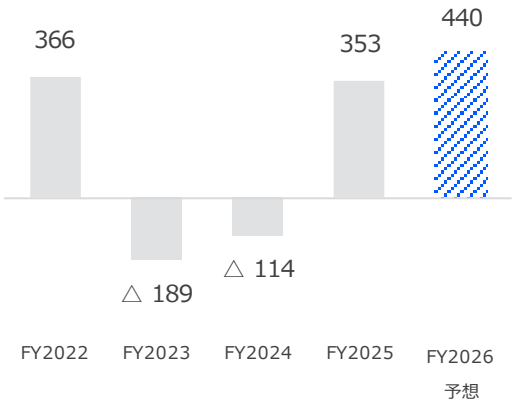
売上高



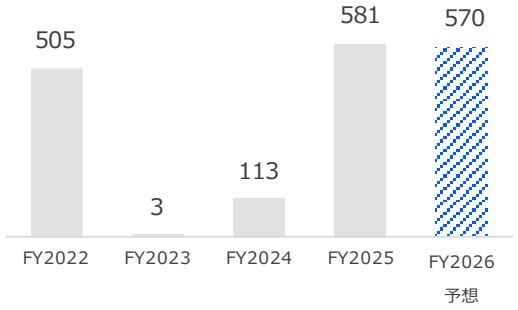
売上総利益



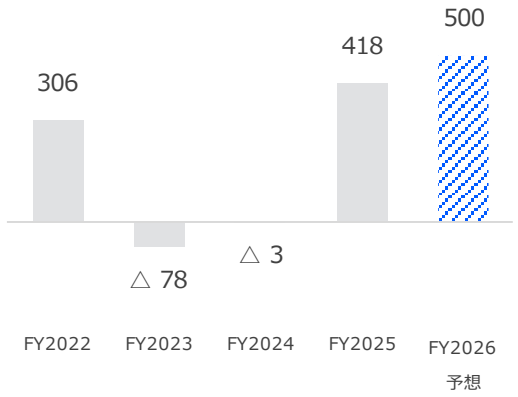
営業利益・損失



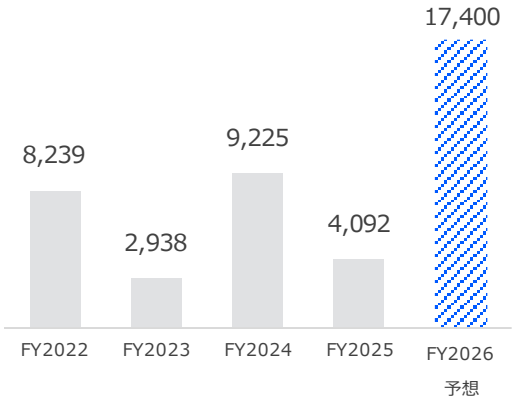
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益・純損失



受注高（総合エンジニアリング事業）



© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

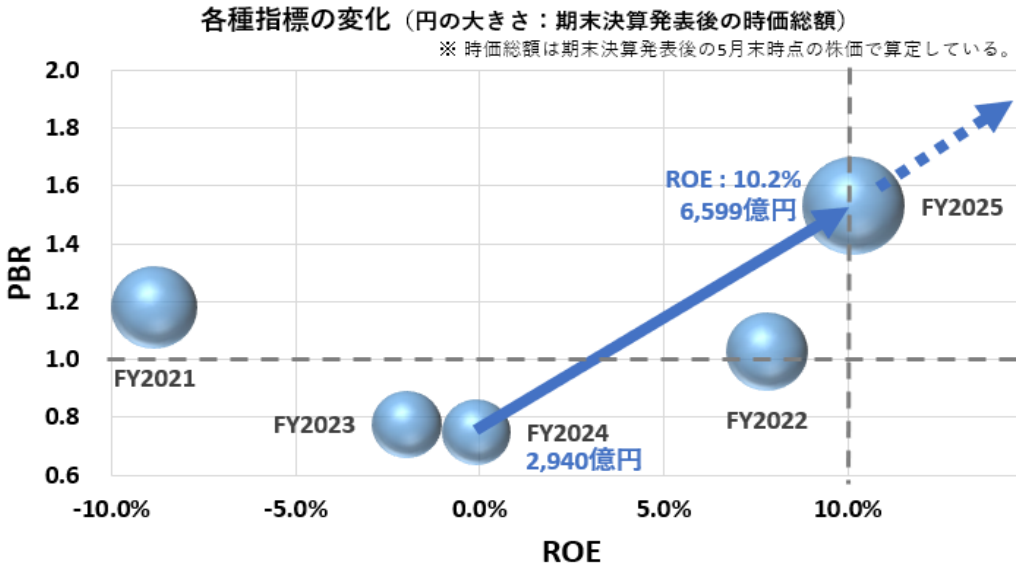
企業価値向上に向けての取り組み

– 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 –

2026年11月11日付更新

現状評価

- 8%から10%の株主資本コストのレンジに対して、2025年度はROE 10.2%まで上昇
- 1倍を割り込んでいたPBRも、総合エンジニアリング事業の収益性向上期待により、1.2倍から1.5倍のレンジに上昇
- 現状認識、方針・目標の策定、取り組みの状況モニタリングについて取締役会で議論



方針・目標

- 本年5月にBSP2030(中期経営計画)を策定 【「2040年ビジョン」2ndフェーズ】中期経営計画「Building a Sustainable Planetary Infrastructure 2030」プレゼンテーション資料
- 重視する経営指標として、営業利益600億円、当期純利益500億円、ROE10%以上の達成を目指す

中期経営計画
「Building a Sustainable Planetary Infrastructure 2030 （BSP2030）」

2030年に目指す姿：技術をつなぎ、一歩先のソリューションで課題に挑む協働者

重点戦略

1. 総合エンジニアリング事業の持続的な競争力強化
   - 遂行体制の強化による収益基盤の安定化
   - EPCビジネスの進化に向けた挑戦
   - マーケットへの適応と戦略的事業育成の両立
2. 機能材製造事業の成長加速
   - 半導体関連市場での販売拡大
   - 開発力の強化による提案型案件の創出
   - 海外市場の積極的な開拓
3. ソリューションビジネスの拡充
   - 強みを活かしたメニューの進化
   - 新たな事業の立上げへの挑戦

重視する経営指標

営業利益	600億円
当期純利益	500億円
ROE	10%以上

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

企業価値向上に向けての取り組み

– 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 –

2026年11月11日付更新

取り組み・実施時期

財務基盤に対する考え方

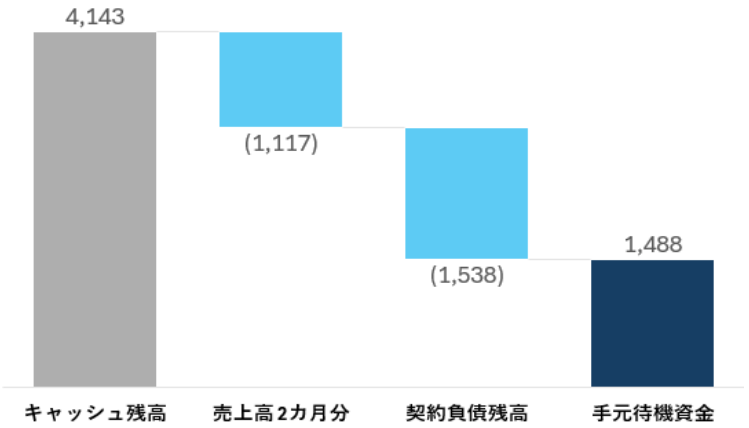
- 予期せぬ外部環境の変化や市場の混乱局面でも事業を継続するために必要な運転資金(*)と資金調達余力の確保
- 自己資本比率 50%の安定的維持

＊ 概ね売上高2カ月分＋契約負債・前受金相当

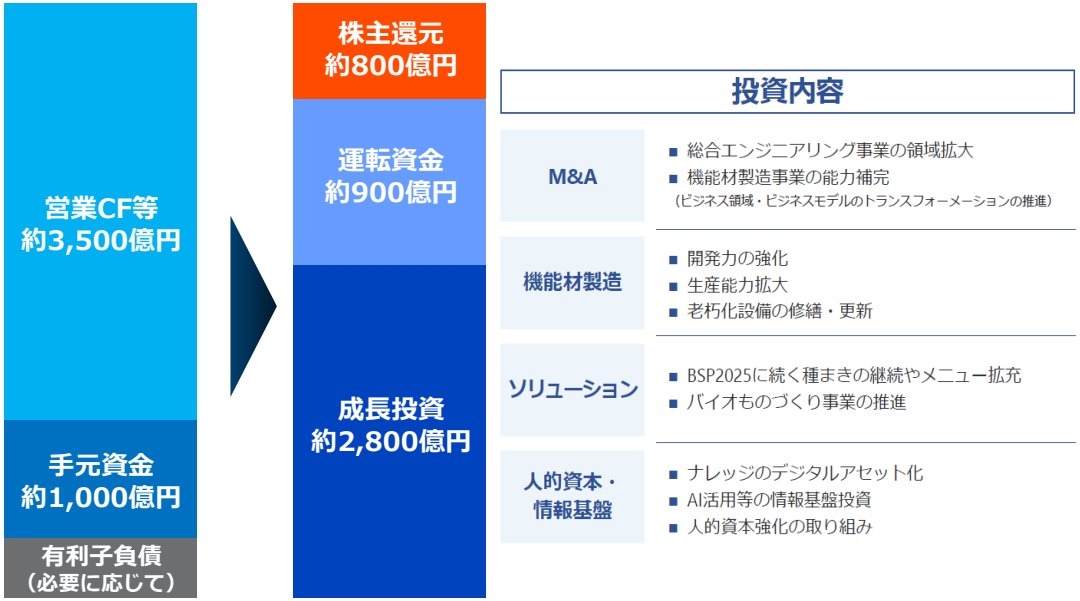
キャッシュ アロケーション

- 運転資金を除いた手元待機資金と将来の営業CF等を重点戦略に活用・充当
- 次なる成長基盤の構築を目指し、成長投資を実施（2030年度末までに約2,800億円）
- 成長投資に伴う事業規模拡大に対応する運転資金確保
- 継続的な還元増加を意図した株主還元施策の採用。株主資本配当率（DOE）3%から開始し、2030年度までに4%へ引き上げていくことを目指す
- 自己株式取得などの追加的な株主還元を適宜検討

キャッシュの状況 26/9末時点 (単位：億円)



BSP2030期間中の累計イメージ



© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
ファイナンス・IRオフィス　IRユニット
Tel：045-682-8026　Fax：045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION